

利尻島から未記録の蛾 2 種

佐藤雅彦¹⁾・工藤広悦²⁾

¹⁾ 〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

²⁾ 〒 121-0061 東京都足立区花畑 3-12-15

New Records of Two Moth from Rishiri Island, Northern Hokkaido

Masahiko SATO¹⁾ and Koetsu KUDO²⁾

¹⁾Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

²⁾3-12-15, Hanahata, Adachi-ku, Tokyo, 121-0061 Japan

利尻島からは記録されていない以下の 2 種を確認したのでここに報告する。なお、佐野洋之氏（利尻町杵形）は本報告に関わる貴重な標本を利尻町立博物館にご寄贈いただいた。ここに記し感謝の意を表する。

1. アケビコノハ *Adris tyrannus* (Guenee, 1852) <Fig. 1>

1♀, 2004.x.8, Kutsugata, Rishiri-cho, Rishiri Is., Hokkaido, Hiroyuki Sano leg, RTMLp14.

食草はムベ、アケビ、ミツバアケビ（アケビ科）とされているが、利尻島にこれらの食草は自生していない。採集者によれば捕獲した場所の近くの

民家に植栽されたアケビがあるということで、そういった園芸種に紛れ込んで島内に侵入したものと思われる。

2. チャバネフユエダシヤク *Erannis golda* Djakonov, 1929 <Fig. 2>

2♂, 2003.x.11-12, Rishirihokurokuyaeijo, Rishirifuji-cho, Rishiri Is., Hokkaido, Koetsu Kudo leg; 1♀, 2004.xi.10, Senhoshi, Rishiri-cho, Rishiri Is., Hokkaido, Masahiko Satō leg, RTMLp15.

多くの蛾類調査がこれまで利尻島で実施されてきたが、10月以降の季節における例はほとんど



ない。そのため秋から初冬にかけて出現する種の確認はほとんどされていない。いわゆる「フユシャク」と呼ばれる♀の翅が退化するシャクガ科に属する種についての記録は筆者らの知る限りこれまで利尻島からはなかったと思われる。♂は燈火採集によって筆者らの一人である工藤が、♀については佐藤が利尻町立博物館の壁で偶然見つけたものである。島内にはまだ別種の翅が退化した♀を持つシャクガが分布しており（佐藤未発表）、今

後♂の捕獲とともに調査が進められることを期待している。

参考文献

- 井上 寛ほか, 1982. 日本産蛾類大図鑑. vol.1: 1-968; vol.2: 1-556, pls 1-392. 講談社. 東京.
杉 繁郎 (編), 1987. 日本産蛾類生態図鑑. 453 pp. (pls 120) 講談社. 東京.